

# 兵庫県水産技術センターだより

## 貝毒情報(マガキ) KD-22-14 号

平成 23 年 3 月 4 日発行

プランクトン及び貝毒検査を 2 月 28 日～ 3 月 4 日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・貝毒検査の結果、今回検査した全地点で、貝毒は検出されませんでした。

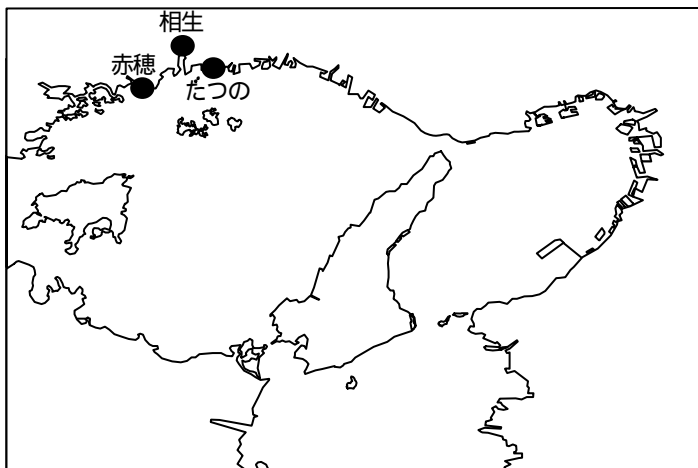
・貝毒原因プランクトンは散見される程度であり、問題ありません。



### 【検査結果】

年月日(採水・採取)		H23.2.28	H23.2.28	H23.2.28
地点(St.)		たつの(室津)	相生	赤穂(坂越)
水温( )		9.4	9.6	10.0
塩分		31.1	31.6	31.6
貝類の 毒化状況 (マウスユニット/g)	麻痺性貝毒	ND	ND	ND
	下痢性貝毒	ND	ND	ND
麻痺性貝毒原因 プランクトン	アレキサンドリウム タマランセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ)	20	0	0
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/ℓ)	0	0	0
下痢性貝毒原因 プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ)	0	0	0
	ディノフィシス アキョミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ)	0	0	0

NDとは、検出限界以下のことです。



### < 規制の基準 >

麻痺性貝毒: 4 マウスユニット/g  
下痢性貝毒: 0.05 マウスユニット/g } を超えた場合

### < 注意が必要なプランクトン密度 >

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマランセ  
*Alexandrium tamarense* 5,000 個数/ℓ以上

アレキサンドリウム カテネラ  
*Alexandrium catenella* 50,000 個数/ℓ以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ  
*Dinophysis fortii* 50,000 個数/ℓ以上

### 【今後の情報予定】

- ・本年度のマガキの調査は、今回をもって終了します。
- ・次回は 3 月 22 日の週にアサリの定期調査を予定しています。調査結果がまとまり次第「貝毒情報 KD-22-15 号」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当: 資源部・山下、宮原)  
Tel : 078-941-8601 Fax : 078-941-8604 Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>